



兵庫教育大学の 「先導研究推進機構」

兵庫教育大学は、学校教育の変化する課題やニーズをとらえて、教員養成・研修の新しいカリキュラムと教育方法を先導的に開発し、実施することをミッションとしています。課題やニーズに応じてさまざまな教育プログラムを工夫してきていますが、これまでとは在学形態と運営方法が異なるプログラムをつくることとしました。

それは、学生は在学期間の大部分を自分の勤務地・生活地に居て履修することができるプログラムです。学部生はもちろん、現職教員を含む大学院生も、加東キャンパスあるいは神戸ハーバーランドキャンパスに通学することがこれまでの在学形態ですが、日常的に通学しない形態が加わることになります。

本学大学院は、一層の特色化と機能強化、他大学院との差別化のために、「スーパースクールリーダー」を養成するプログラムの構築を志向しています。その一つが市区町村教育長の資質力量の育成プログラムです。本号「教育最前線」に紹介のように、平成23年度から現職教育長対象のセミナーを神戸、東京、札幌などで開催してきました。来年度からは開催地を7カ所に広げ、全国展開することとしています。併せて、28年度には教育長候補者を大学院で養成するプログラムを立ち上げることを計画しています。

教育長候補者養成プログラムでは、入学を志望する人々の職種や職位を想定すると、2年間勤務地を離れて本学に通学することは現実的でなく、各自の勤務地において履修する仕組みが必要となります。そのために、近隣で開催されるセミナーを受講するとともに、本学から発信されるVOD（ビデオ・オン・デマンド）で日常的に授業を受けるシステムの開発に取り組んできました。ただし、対面の機会は不可欠であり、数カ月程度は、実習やコースワークにおける各自の成果・課題を共有・深化する、教員・学生間のディスカッションやリフレクションを行うために通学を要します。

本プログラムの運営組織が、教育政策トップリーダー養成カリキュラム研究開発室です。ここに所属する教員の活動は、専ら大学で学生に指導するのではなく、全国各地に出かけてセミナーの運営と授業を行うことや、VODの教材・授業づくりがメインとなります。教員と学生の移動・宿泊の利便性からオフィスは神戸に設けます。教員の活動内容と場所の特殊性から、大学運営に関わる業務においても違う扱いが必要でしょう。

このような、これまでにない運営形態に対応するために「先導研究推進機構」を創設して、その中に教育政策トップリーダー養成カリキュラム研究開発室を置くこととしました。機構の業務は特定・明示できますので、所属教員には業績評価の結果をより反映しやすい年俸制を適用します。

本学大学院の主たる顧客は現職教員を中心とする社会人です。彼らの学び直しのニーズは教育課題や職場環境の変化とともにますます多様化することでしょう。本学のミッションを実現していくためには、彼らの新しいニーズに対応した、これまでにない在学形態と運営形態の教育プログラム構築を今後も積極的に推進していく必要があります。

かじさてつや
学長 加治佐哲也